

プログラム

7月29日(金)

開会の辞・当番世話人挨拶

12:55~13:00

三重大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科 竹内 万彦

教育講演 1

13:00~13:50

座長：山谷 睦雄（東北大学先進感染症予防学）

「自然発症型閉塞性肺疾患モデルマウス (C57BL/6J- β ENaC-Tg マウス) を用いた疾患・創薬研究」

熊本大学大学院生命科学研究部（薬学系）遺伝子機能応用学分野 首藤 剛

ミニシンポジウム 1 「ウイルス、細菌、真菌」

13:50~15:20

座長：迎 寛（長崎大学医学部第二内科）

石井 誠（慶應義塾大学医学部呼吸器内科）

① 「カニクイザルにおける高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N1) 感染に対するクラリスロマイシン予防的投与の有効性評価」

滋賀医科大学耳鼻咽喉科 有方雅彦

② 「16員環マクロライドによる抗インフルエンザウイルス活性とマクロライド薬剤をベースとした新規治療薬の探索」

帝京大学アジア国際感染症制御研究室 (ADC) 菅又龍一

③ 「クラリスロマイシンは気道上皮細胞で RS ウイルスによって誘導されるインターフェロンの産生を IRF-3 を介して調整する」

札幌医科大学 微生物学講座 山本圭佑

④ 「肺気腫マウスモデルにおけるインフルエンザ感染後の二次性細菌性肺炎に対するマクロライド系抗菌薬の効果」

佐世保市総合医療センター 原田達彦

⑤ 「カルバペネム耐性腸内細菌に対するクラリスロマイシンの効果」

長崎大学大学院 病態解析・診断学分野/同病院検査部 柳原克紀

⑥ 「クラリスロマイシンによる高病原性 *Cryptococcus gattii* の莢膜形成抑制作用」

国立感染症研究所 真菌部 中村茂樹

コーヒーブレイクセミナー1

15:30~16:20

座長：三笠 桂一（奈良県立医科大学附属病院感染症センター）

「マクロライド療法を通して学んだトランスレーショナル・リサーチ」

東邦大学医学部微生物・感染症学講座 舘田 一博

共催：ファイザー株式会社

座長：玉置 淳（東京女子医科大学第一内科）
石永 一（三重大学医学部 耳鼻咽喉科）

「気道の難治性疾患治療におけるマクロライドの効果と限界」

1. 嚢胞性線維症

社会福祉法人三井記念病院 呼吸器内科
吉村 邦彦

2. Therapy for primary ciliary dyskinesia

Children's Hospital of Richmond at VCU, USA
Bruce K. Rubin

3. 肺非結核性抗酸菌症

財団法人結核予防会複十字病院 呼吸器内科
森本 耕三

4. びまん性汎細気管支炎 (DPB)

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学分野（第二内科）
迎 寛

5. 原発性免疫不全症

東京医科歯科大学大学院発生発達病態学分野（小児科）
金兼 弘和